

# 令和5年度

## 教育総務部の方針書

部 名	教育総務部
部長名	菊地 浩昭

### 1. 部の使命(ありたい姿)

子どもから大人まで一人一人が、ふるさと横手に愛着と誇りを持ち、自らを高め、人との関わりの中で共生協働し、未来を切り開いていけるよう、組織全体で連携しながら支援を行ってまいります。

担当政策	政策2: 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-1: 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 2-2: 安全で安心して学べる教育環境の整備 2-3: 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 2-4: 心を豊かにする生涯学習の推進 2-5: よこての伝統文化の継承と再発見

### 2. 部の抱える課題(現状)

- ◎学校において安全で安心な教育環境の整備
- ◎令和5年度中の読書活動推進計画の策定
- ◎市内の歴史的資源の把握と整理、資料館施設の効果的な運営
- ◎スポーツ施設等の適正な管理と計画的な整備・改修
- ◎横手駅東口新公益施設Ao-naの令和6年度春オープンに向けた準備作業

### 3. 今年度の『スローガン』

明るい未来を想像し、組織内の連携と協力で課題解決に繋げよう。

### 4. 今年度の方針

- ◎学校の長寿命化対策など安全で安心して学べる教育環境の整備推進
- ◎スポーツ施設等の計画的な整備・改修等を行い、賑わい創出に向けた事業推進
- ◎コミュニティスクール事業の活動支援を含む地域と学校の連携・協働体制の推進
- ◎地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業推進
- ◎横手駅東口新公益施設Ao-naの令和6年度春オープンに向けた確実な準備作業実施

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出に向けた事業推進
	取組内容	・朝倉小学校大規模改修工事など長寿命化改善計画に基づく学校施設の環境整備 ・横手体育館および横手市民会館建設事業の推進 ・天下森スキー場ヒュッテ改修工事をはじめ野球場・陸上競技場等スポーツ施設の環境整備 ・令和6年度春のAo-naオープンに向け、基本方針の具現化等を実施
(2)	実現したい成果	市民協働、市民参加による学びの場の充実及び生涯スポーツの振興
	取組内容	・スポーツ立市10周年関連事業として各種イベントや大会開催など、市民スポーツ活動を積極的支援 ・多様な組織と連携しプロスポーツやトップアスリートによる大会及び合宿等の誘致 ・地域学校協働活動の推進とコミュニティスクールの活動支援 ・読書活動推進計画の策定と6図書館運営体制の整備
(3)	実現したい成果	地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進
	取組内容	・未指定の文化財の把握と民族行事等のデジタル映像化の推進 ・発掘調査事業の実施と歴史的価値の周知 ・郷土資料館施設等の資料整理と資料館施設の運用のあり方を検討

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1)安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出に向けた事業推進

- ・朝倉小学校、天下森スキー場ヒュッテ改修工事などの契約が完了し、計画に沿った工事進捗が可能となった。
- ・新横手体育館、新横手市民会館については、完成後の管理運営計画作成に着手した。
- ・Ao-naの準備関連については、オープン後の年間イベント(案)の作成や横手図書館の移転準備、図書館資料のICタグ化などを進めた。

### (2)市民協働、市民参加による学びの場の充実及び生涯スポーツの振興

- ・スポーツ立市10周年について広く周知を図るとともに、イベント等と結びつけ市民の健康づくりに取り組んだ。
- ・わか杉カップ開催や3大学のスポーツ合宿誘致、野球塾の開催など、スポーツのまちづくりの推進に取り組んだ。
- ・コミュニティ・スクール研修会や全小中学校での学校運営協議会の開催、地区交流センター長との協議、夏休み子ども教室の開催など、地域と学校の連携・協働体制の推進を図った。
- ・策定委員等と連携し読書活動推進計画(案)を策定したうえで、図書館運営協議会において意見を伺った。

### (3)地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進

- ・建物調査の実施や無形民族行事の撮影によるデジタル映像化を進めた。
- ・県営ほ場整備事業に伴い蟹沢遺跡の発掘調査を実施、県内初の古墳時代の須恵器甕を発見した。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1)安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出に向けた事業推進

- ・学校教育情報化の取り組みとして、統合型校務支援システムの導入やSINET接続に向けた準備作業を実施。
- ・Ao-na開館スケジュール決定、オープニングイベントの見直しやソフト事業の精査、危機管理マニュアル等の作成。
- ・新横手体育館や新市民会館の管理運営計画の策定とソフト事業の検討。

### (2)市民協働、市民参加による学びの場の充実及び生涯スポーツの振興

- ・スポーツ立市10周年の更なる周知と市民の健康づくり活動の創出。
- ・地域学校協働活動の推進のため、地域コーディネーターの研修・情報交換会等の開催。
- ・読書活動推進計画を今年度中に策定、市民等への周知を図る。

### (3)地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進

- ・建造物や有形資料等について、詳細調査が必要な物件の抽出や優先度の検討を進める。デジタル映像化については引き続き撮影等を行っていく。
- ・金沢柵特定のための調査、歴史上の位置づけの検討、公開講座の開催等、金沢城跡の実体に迫る。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1)安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出に向けた事業推進

- ・学校の大規模改修工事関連については、順調に工事や設計業務が進んでいる。学校教育情報化の課題として、統合型校務支援システムや1人1台端末の更新について、県等と協議を重ね導入を進めていく必要がある。
- ・Ao-naについては、開館予定日を令和6年9月に決定。開館スケジュールに基づき準備作業を加速させる。
- ・新横手体育館は管理運営計画を、新市民会館については管理運営計画の考え方を策定した。今後、具体的な運営方法やソフト事業の検討を行っていく。
- ・スポーツ施設の環境整備については、改修等を実施又は予定しており、継続して良好なスポーツ環境の提供を目指していく。

### (2)市民協働、市民参加による学びの場の充実及び生涯スポーツの振興

- ・様々な活動を通しスポーツ立市宣言都市であることを広めスポーツに関する意識啓発活動を行うことができた。
- ・各競技団体と連携しながらスポーツのまちづくりや競技スポーツ強化の事業に取り組んだ。
- ・地域と学校の連携・協働体制の推進のため、地域コーディネーター意見交換会や地区交流センターとの連携活動等を行うことができた。活動人材の確保を今後も目指していく。
- ・図書館資料のICタグ化を進め自動貸出機の設置など新たな図書館サービスを開始した。また、新横手図書館開館に向け、Y2プラザでの代替サービスなど準備作業も進めることができた。今年度策定した読書活動推進計画の具現化を今後進めていく。

### (3)地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進

- ・新たに国登録文化財に5件を追加、建造物詳細調査を5件実施するなど、保存・活用のための取り組みを進めた。
- ・民俗行事のデジタル化については、13行事を作成しており、残り22行事について令和6年度に実施していく。
- ・金沢柵特定のための金沢城跡調査については、今後、総括報告書の作成を進め史跡指定を目指していく。